

学 年

4 年

## わる数が2けたのわり算①

年 組 氏名

- ① ビー玉が98こあります。1人に31こずつ分けると、何人に分けられて、何こありますか。

①式をたてましょう。

(商は、求めなくてもよいです)

②商の見当をつけてみましょう。

見当をつけるためには

わる数を  とみます。

見当をつけた商は →

③筆算をしましょう。

商は、何の位にたちますか。 →  の位


答え. \_\_\_\_\_

④答えのたしかめをしましょう。

言葉を入れてみましょう

	×		+		=	わられる数
--	---	--	---	--	---	-------

数を入れてみましょう。

	×		+		=	98
--	---	--	---	--	---	----

学 年	わる数が2けたのわり算①
4年	

\_\_\_\_\_ 年 組 氏名

1 ビー玉が98こあります。1人に31こずつ分けると、何人に分けられて、何こありますか。

①式をたてましょう。

$98 \div 31$

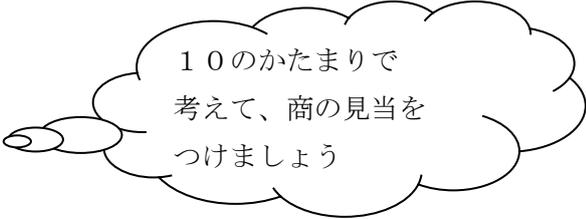
(商は、求めなくてもよいです)

②商の見当をつけてみましょう。

見当をつけるためには

わる数を 30 とみます。

見当をつけた商は → 3



③筆算をしましょう。

商は、何の位にたちますか。 → 一 の位

$$\begin{array}{r}
 3 \\
 31 \overline{) 98} \\
 \underline{93} \\
 5
 \end{array}$$

答え. \_\_\_\_\_ 3人に分けられて 5こあまる

④答えのたしかめをしましょう。

言葉を入れてみましょう

わる数	×	商	+	あまり	=	わられる数
-----	---	---	---	-----	---	-------

数を入れてみましょう。

31	×	3	+	5	=	98
----	---	---	---	---	---	----

学 年

4 年

## わる数が2けたのわり算②

年 組 氏名 \_\_\_\_\_

- ① 色紙が63枚あります。23人に分けます。1人分は何枚で、何枚あまりですか。

- ①式をたてましょう。

(商は、求めなくてもよいです)

- ②商の見当をつけてみましょう。

見当をつけるためには

わる数を  とみます。

見当をつけた商は →

- ③見当をつけた商をたてて、筆算をしてみましょう。


うまくいきま  
したか。



商をどのよう  
にかえればい  
いですか。


- ④きちんと、式と答えを書いてみましょう。

式

答え. \_\_\_\_\_

学 年

4 年

## わる数が2けたのわり算②

年 組 氏名

- ① 色紙が63枚あります。23人に分けます。1人分は何枚で、何枚あまりますか。

①式をたてましょう。

$$63 \div 23$$

(商は、求めなくてもよいです)

- ②商の見当をつけてみましょう。

見当をつけるためには

わる数を **20** とみます。

見当をつけた商は →

**3**

- ③見当をつけた商をたてて、筆算をしてみましょう。

$$\begin{array}{r} 23 \overline{) 63} \\ \underline{69} \end{array}$$

うまくいきま  
したか。



商をどのよう  
にかえればい  
いですか。

$$\begin{array}{r} 23 \overline{) 63} \\ \underline{46} \\ 17 \end{array}$$

- ④きちんと、式と答えを書いてみましょう。

式

$$63 \div 23 = 2 \text{あまり} 17$$

答え. 1人分は2枚で 17枚あまる

学 年

4 年

## わる数が2けたのわり算③

年 組 氏名

- ① クッキーが98枚あります。18人に分けます。1人分は何枚で、何枚あまりますか。

- ①式をたてましょう。

(商は、求めなくてもよいです)

- ②商の見当をつけてみましょう。

見当をつけるためには

わる数を  とみます。

見当をつけた商は →

- ③見当をつけた商をたてて、筆算をしてみましょう。





うまく計算できましたか。正しく計算  
できたかどうかは、どこを見て、考えましたか。

商をどう変えますか



- ④きちんと、式と答えを書いてみましょう。

式

答え.

---

学 年	わる数が2けたのわり算③
4年	

年 組 氏名 \_\_\_\_\_

- 1 クッキーが98枚あります。18人に分けます。1人分は何枚で、何枚あまりますか。  
①式をたてましょう。

$$98 \div 18$$

(商は、求めなくてもよいです)

- ②商の見当をつけてみましょう。  
見当をつけるためには

わる数を 20 とみます。

見当をつけた商は → 4

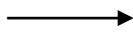
- ③見当をつけた商をたてて、筆算をしてみましょう。

$\begin{array}{r} 4 \\ 18 \overline{)98} \\ \underline{72} \\ 26 \end{array}$	→	$\begin{array}{r} 5 \\ 18 \overline{)98} \\ \underline{90} \\ 8 \end{array}$
---	---	--

うまく計算できましたか。正しく計算  
できたかどうかは、どこを見て、考えましたか。

商をどう変えますか

あまりの26が わる数より 大きいこ  
と



1 大きくする

- ④きちんと、式と答えを書いてみましょう。

式  $98 \div 18 = 5 \text{あまり} 8$

答え. 1人分は5枚で、8枚あまる



学 年 4 年	わる数が2けたのわり算④
------------	--------------

年 組 氏名 \_\_\_\_\_

- 1 どんぐりをたくさんひろいました。  
 全部で、893個ありました。これを学級のみんな28人で分けます。  
 1人分は何個になって、何個あまりますか。

①式をたてましょう。

$$893 \div 28$$

(商は、求めなくてもよいです)

- ② 893個のどんぐりを 100個入りの袋と、10個入りの袋に分けてみましょう。  
 図の続きをかいてみましょう。

893個は・・・

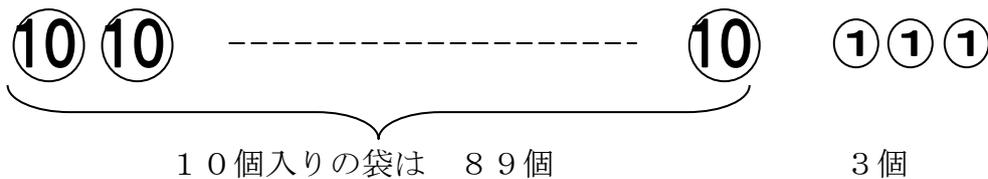


- 100個入りの袋は 8 個です。  
 100個入りの袋は、28人に配れますか。

配れない

- ③ 100個入りの袋をばらして、10個入りの袋にかえてみましょう。  
 図の続きをかいてみましょう。

893個は・・・



- 10個入りの袋を28人に分ける  
 これを式に表すと

$$89 \div 28 = 3 \text{ あまり } 5$$

- 残った10個入りの袋をばらして、残りの3個と  
 合わせて28人に分ける  
 これを式に表すと

$$53 \div 28 = 1 \text{ あまり } 25$$

筆算をしてみましょう

$$\begin{array}{r}
 3 \ 1 \\
 2 \ 8 \overline{) 8 \ 9 \ 3} \\
 \underline{8 \ 4} \phantom{0} \\
 5 \ 3 \\
 \underline{2 \ 8} \\
 2 \ 5
 \end{array}$$

学 年  
4 年

わる数が2けたのわり算⑤

年 組 氏名

- ① おこづかいが2700円あります。300円ずつ分けると、何人に分けられますか。

式をたてましょう

$$\boxed{\phantom{0000}} \text{ (円)} \div \boxed{\phantom{0000}} \text{ (円)} = \boxed{\phantom{0000}} \text{ (人)}$$

- ② 100円玉を使って、100円玉の枚数で分けて考えると・・・

問題

おこづかいが2700円（100円玉が 枚）あります。

300円ずつ（100円玉が 枚ずつ）分けると、何人に分けられますか。

$$\boxed{\phantom{0000}} \text{ (枚)} \div \boxed{\phantom{0000}} \text{ (枚)} = \boxed{\phantom{0000}} \text{ (人)}$$

- ①と②の式をくらべてみましょう

①  $\boxed{\phantom{0000}} \div \boxed{\phantom{0000}} = \boxed{\phantom{0000}}$

②  $\boxed{\phantom{0000}} \div \boxed{\phantom{0000}} = \boxed{\phantom{0000}}$

2つの式をくらべて、わかったことを 言葉でまとめましょう。

学 年

4 年

## わる数が2けたのわり算⑤

年 組 氏名

- ① おこづかいが2700円あります。300円ずつ分けると、何人に分けられますか。

式をたてましょう

$$\boxed{2700 \text{ (円)}} \div \boxed{300 \text{ (円)}} = \boxed{9 \text{ (人)}}$$

- ② 100円玉を使って、100円玉の枚数で分けて考えると・・・

問題

おこづかいが2700円（100円玉が 27枚）あります。

300円ずつ（100円玉が 3枚ずつ）分けると、何人に分けられますか。

$$\boxed{27 \text{ (枚)}} \div \boxed{3 \text{ (枚)}} = \boxed{9 \text{ (人)}}$$

- ①と②の式をくらべてみましょう

$$\text{① } \boxed{2700} \div \boxed{300} = \boxed{9}$$

$$\text{② } \boxed{27} \div \boxed{3} = \boxed{9}$$

2つの式をくらべて、わかったことを 言葉でまとめましょう。

(例)

2700÷300も、27÷3も、商は同じ

わる数と わられる数を 同じ数（100）で わっても 商はかわらない。